



世の光である主のご降誕

晃華学園小学校 校長 田島亮一

「貫くひかり」 ハ木重吉

はじめに ひかりがありました
 ひかりは 哀しかったのです
 ひかりは ありと あらゆるものを
 つらぬいて ながれました
 あらゆるものに 息を あたえました
 にんげんのこころも
 ひかりのなかに うまれました
 いつまでも いつまでも かなしかれ ^{いわわ}と祝福れながら

2学期が終わり、いよいよクリスマスを迎えようとしております。この喜びを、子どもとともにみなさんで分かち合いたいと思います。今から約2千年前の出来事であるのに、何故今も祝うのか。それは21世紀に生きる私達一人一人のために、希望の光としてイエスキリストが遣わされた日なのです。聖書の中には多くの素晴らしい約束の言葉があります。

「わたしは光としてこの世にきた。それは、わたしを信じる者が、やみのうちにとどまらないようになるためである。」 ヨハネによる福音書12章46節

聖書は、私達の中にある闇を明るく照らしてくださる方がイエスキリストであると伝えていきます。クリスマスは、その闇を照らしてくださる方、神様の一人子をお与えくださった大切な日なのです。

イエス様はクリスマスの夜に飼葉桶に寝かされました。飼葉桶は赤ちゃんを置く所としては最悪の場所なのです。それは、イエス様が、汚れや醜さ、弱さという私たちの闇を全部照らすために来てくださったという象徴なのです。クリスマスを迎えようとしている2学期の終わりに、もう一度、クリスマスの本当の意味を、子どもたちと共に噛みしめたいと思います。

早いもので、本日で2学期を終えることができました。おかげさまで宿泊活動、音楽会、ペレンツデーを始めとした様々な教育活動を充実した貴重な体験として

終えることができました。その中で、子どもたちは多くのことを経験し、学び、成長してきました。この2学期、保護者の方々には、本校の教育活動への多大なるご協力、ご支援を賜りましてありがとうございました。

いよいよ冬休みに入り、新しい年を迎えます。年末年始には、ご家庭で子どもたちは様々な方々と出会い、貴重な時間を過ごすことになることなのでしょう。冬休みは、子どもたちが家庭生活を中心として、伝統的な行事の中で家庭や地域の人々と交流を図り、学校生活では得られない豊かな生活体験を積むよい機会です。子どもたちには有意義な冬休みの過ごし方について、ご家庭におかれましても下記の点にご留意の上、楽しく充実した冬休みが送れますよう、よろしく願いいたします。

《健康について》

1. 冬休みの計画を考え、規則正しい生活をする。
2. 外から帰ったらうがい・手洗いをきちんとし、かぜをひかないように気をつける。
3. 寒さに負けず外で元気に遊ぶ。運動で身体を鍛える。

《生活について》

1. 1年間を振り返りながら、新しい年のめあてをもつ。
2. あいさつをしっかりする。(特に、年始のあいさつをしっかりする。)
3. 家族の一員として自分ができる仕事を見つけ、家事の手伝いを進んで行く。
4. お年玉や小遣いを無駄に使わず、計画的に使う。
5. テレビやパソコン、ゲームについては、家族でよく話し合い、見方や使い方・時間を決める。

《安全について》

1. 暗くなる前に、家に帰る。(4:30には家に着くようにする。)外出するときは、必ず防犯ブザーを携帯する。家の人に行き先・帰宅時間を伝えてから出かける。
2. 交通安全に気をつけ、道路で遊んだり、飛び出したりしない。
3. 不審な人に声をかけられ、危ないときは近くの大人に大声を出して助けを求める。
4. 子供だけではデパートやゲームセンターには行かない。

《その他》

1. 相手が確認できない見知らぬ人から、児童の氏名・電話番号・住所を尋ねる電話がかかってきたら、絶対教えないようご指導をお願いいたします。
2. 病気や事故など変わったことが起きたときには、学校に連絡してください。
3. 12月28日～1月5日は学校業務が休みとなります。緊急の場合は、連絡メールボックスの出欠席報告を利用してご連絡ください。(出欠連絡でその他を選んで、一言送信にその旨をお書きください。)



晃華学園小学校

学校便り

2学期末号

平成28年12月22日発行

